

社会基盤（インフラ）整備事業における 適切なPFIプロジェクトファインディング に向けて

平成13年度国土交通省PFセミナー

2002年3月14日

仙台サンプラザ

東北大学教授
東北アジア研究センター
宮本和明

PFI事業検討における基本的視点

何が目的で何が手段か？

- インフラ整備はあくまでも手段。目的は良質廉価な公共サービスを提供すること。
- PFI事業を探すのではなく、必要な公共事業（公共サービスの）の「実施（調達）手段」としてのPFI事業形式を検討すること。

PFIとは：公共サービスの調達方式

- 「PFIとは公共部門が公共サービスを住民に提供するためのひとつの方法」
- [公共部門]
 - 社会資本を整備・維持管理
 - 公共サービスを提供
 - 「住民のために公共サービスを調達している」
 - PFIはその一方法に過ぎない。

V F M (Value for Money)

- バリュー・フォー・マネー
- 「お買い得」指標
- 住民が受ける公共サービスは、原則として、従来型公共事業同様
- 従来型の公共事業方式に比べて、PFI事業で調達した方が安上がりなら、納税者にとってみると「お買い得」

PFIの背景

小さな政府とPFI

- フリードマンに代表されるシカゴ学派
 - 「民間で可能な分野はできるだけ民間に任せ、政府の関与は最小限であることが望ましい」
- 英国：基本的に小さな政府を指向する一環としてPFIを位置づけ
- 経済企画庁：「社会資本の構造改革に向けて」
(1 9 9 7 年 8 月)

PFIの効能

PFI は「競争」を導入

- 公共事業を独占市場から競争市場へ
 - 従来は公共部門の独占市場状態にあった「公共サービスの調達」市場
 - PFI は「競争」を導入
 - PSC (Public Sector Comparator) は公共部門の入札価格

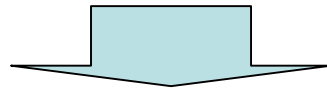
公共事業に関わる社会的背景

- 公共事業に対する批判
- 公的債務の増大
- 社会資本整備水準と今後の公共事業費
- 行財政改革

社会資本整備水準と公共事業費 増大する維持・管理・更新費用

(国際比較から見ると整備水準が未だ低いが)

- 社会資本のストックは確実に増加



- 既存施設の更新、維持管理、補修費用

1980年度： 3 兆円

1990年度： 4 兆円

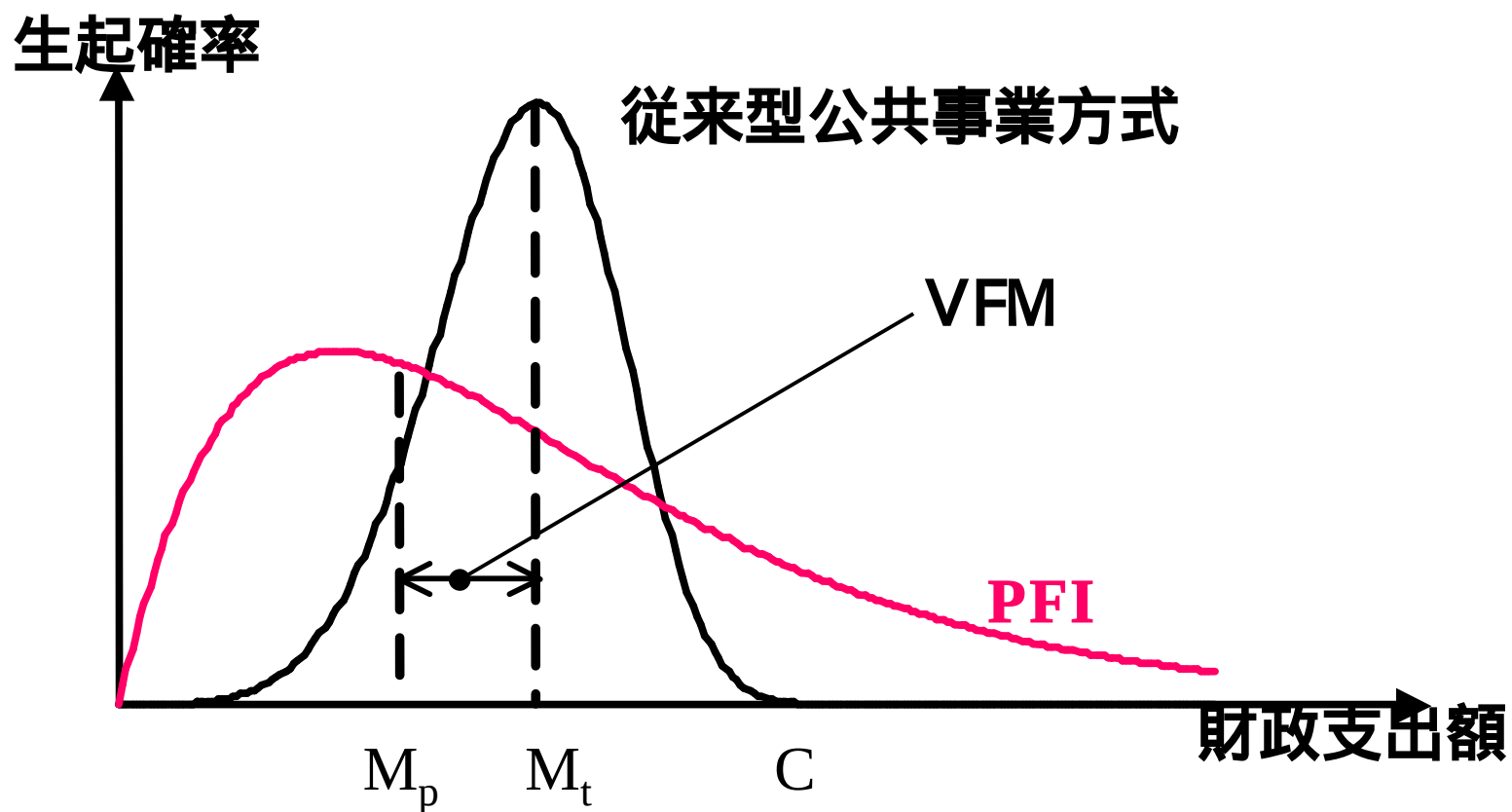
2000年度： 10 兆円

2010年度： 20 兆円強

従来の公共事業でのリスク認識

- 事業遅延や費用超過等
 - 「リスク」として明確に認識 ???
 - 適切な管理 ???
- PSC、VFMの算出：従来の公共事業においては明確には認識されていなかったこれらの「リスク要因」をも「費用」として明示的に算入することが必要

「従来型公共事業」と「PFI事業」における財政支出額の確率分布



英国 P F I 事業の例

D B F O 事業

- 政府：欧州共同体公告（OJEC）に公示
 - － 施設仕様ではなく性能仕様
- 民間事業者：一括した D B F O 事業に対して競争入札
 - － 設計（Design）
 - － 建設（Build）
 - － 資金調達（Finance）
 - － 運営（Operation）

我が国のPFI事業

- 基本方針策定以降に実施方針が策定・公表されたPFI事業：

40件（2002年1月15日現在）

- いわゆる社会基盤（インフラ）整備の案件は皆無

東北におけるPFI活用の促進に向けて

2001年9月

社団法人東北経済連合会

- [国・自治体への提言]

官民連携事業支援センターの創設

- [自治体・経済界への提言]

多様な資金調達への対応

- [国・自治体への提言]

P F I 事業促進のための制度改革の推進

- [国・自治体への提言]

道路・鉄道等へのP F I 活用拡大

- [経済界への提言]

積極的なプロジェクト・ファイナディング

事例検討（道路建設におけるPFI適用の効果）

	従来方式	PFI方式		
工事規模	小分割	全体 1 工区		
発注後期	年度発注	全体 1 工期		
設計法 （手法）	発注者設計基準	性能設計・新解析 法	○	
設計法 （新素材）	発注者設計基準	審査素材	○	
施工	汎用機械	機械選定自由	○	○
工事管理 （品質）	発注者管理仕様基準	SPC内部管理基準		
工事管理 （工程・費用）	発注者・業者共同管 理基準	SPC内部管理基準	○	○

出展：東北におけるPFI活用の促進に向けて（東北経済連合会 2001年 9月）

土木学会建設マネジメント委員会

PFI研究小委員会

- 社会基盤（インフラ）事業への適切なPFI事業形式の導入に向けて
 - 学術的研究
 - 実務的調査・研究
 - 行財政制度への提案
 - 社会一般への提言
- プロジェクトファイナディング
 - 必要な事業 → 従来型か？ PFIか？
- より一般的なPPPへ

全ての公共事業の改善のために

- 個々の公共事業の特性に即した民間の資金とノウハウの導入を積極的に図っていくこと
 - 少子・高齢化に代表される日本の社会状況から見ても不可避の課題

(一方)

- 従来型公共事業をPFIの視点から再点検



- 従来型の公共事業方式で行う事業に関しても様々な改善がもたらされる可能性